

平成21年度定時総会が開催され、新年度の事業計画が承認されました。

さる5月30日愛知県芸術文化センターにおきまして、平成21年度定時総会と記念講演会、交流会を開催いたしました。

総会は参加者29名、委任状52名により、総会成立となりました。そのなかで、20年度事業報告、収支報告と21年度事業計画、収支予算案は満場一致をもちましてご了解を頂きました。御礼申し上げます。

記念講演会は愛知県産業デザイン講座と共催で、株式会社フルハシ環境総合研究所代表取締役の船橋康貴氏を迎え、エコストーリーデザインをテーマにエコビジネスの方法等について実践的なお話を伺いました。そのあとの交流会は席を移し、会員相互が楽しく歓談しました。

協会を取り巻く環境は厳しいものが有りますが、会員皆様の相互交流による発展のため、理事会が先頭に立ち、有効かつ魅力的な委員会活動を展開して行きたいと思っております。会員の皆様の積極的な参加を宜しくお願いいたします。

総会概要

高橋会長挨拶

創立60周年記念事業について

中部デザイン協会は、明2011年に創立60周年を迎えます。

2001年には創立50周年の記念事業を行いました。更に10年の歳月を重ねることになります。そこで、この60年という節目に、今一度協会活動の足跡をふり返し、その意義を顕彰し、更なる協会の飛躍をめざすべく、60周年の記念事業を計画しています。

* CDA60周年プロジェクトの発足

上記の主旨のもと、記念事業の全体計画とその推進にあたり、総務委員会、事務局メンバーを中心としたプロジェクトを立ち上げ、各委員会との連携、協力のもと
・各行事企画の立案 ・推進体制づくり・予算計画等を 進めてまいります。

計画概要

開催時期	2011年1月中旬(予定)
開催場所	国際デザインセンター内(予定)
記念行事	記念式典、レセプション、講演会、セミナー活動記録等
記念誌	(50周年以降)会員作品の作成 など

21年度 理事長の活動方針

CDAは来年60周年を迎えます、その60周年をプロジェクト委員会が推進します。各委員会はそれぞれの活動を進めながら、委員会同士の連携を取りながら60周年に向けて、パワフルに活動を進めます。また同好会もいよいよ本格活動です。入口をいっぱい開けて待っています、ぜひ気軽にご参加ください。

活動方針

「交流(情報)の場を通して、弾ける活動を目指す」

活動のキーワード5

「魅力ある・楽しい・気軽に・役に立つ・自分を活かす」

2 1 年度各委員長事業計画説明

総務委員会（委員長＝森本 健 委員＝高橋省次、稲垣藤雄、和田眞爾）

活動の方針

「もっと多くの cda 会員が、各種の cda 事業へ参加や、事業企画そのものへ参画したいという機運が会員から高まるための施策はなにか」ということが、理事会メンバーの共通の課題です。そのため、協会活動一環として「同好会」を新設するなど、間口を広くし、今よりも少しでも多くの会員が気軽に有意義な活動に参加する事業や、一般の方々を巻き込んだ事業を展開していくことを重視していきます。

2 1 年度の事業

2 1 年度は、cda の特徴である多様なデザインの人材がリストアップされたキャリアバンク登録となるよう努力し、さまざまところで活用されるようつとめていく所存です。現在 1 7 名ですが、3 倍くらいの増員を目指し、きめ細かい働きかけをしていきます。

本年度は理事改選の年でもあります。会員の幅広い有為な人材からの応募を頂、強力な理事会が編成されるよう会員皆様の協力宜しくお願いします。

広報委員会（委員長＝坂野 弘 委員＝飯田幹芳、江藤太郎、大西甫、齋藤綾）

活動の方針

幅広い活動を展開する中部デザイン協会の輪を広めるべく活動をしていきたいと考えています。

従来の活動

1. ホームページによる広報活動
2. 機関紙（年度はじめに前年度のものを発行）

2 1 年度の事業

3. 機関紙を秋にも A4 4 ページくらいの簡易モノを発行したい。（発刊・内容は未定）
4. 多様な人材で構成されている会員をもっと紹介したい。

法人委員会（委員長＝宇賀敏夫 委員＝大国護益大、伊藤千加志、佐藤尚己、馬淵勝之）

活動方針

法人企業と連携し、その優れた活動や製品を見学により紹介。また共同して、デザインに取り組み積極的に展示・PR 活動を行います。

2 1 年度の事業

企業訪問今年度は刈谷市にある（株）カリモク家具販売の本社の工場、ショールームを見学、商品の説明会、懇親会等を計画（1 0 月末ごろ）したいと思っています。

若い学生など含めて総勢 3 0 名ぐらい集めたいと思います。

第 1 2 回国際福祉健康産業展（ウエルフェア 2 0 0 9）出展参加

ポートメッセなごやで 5 月 2 2 日（金）～5 月 2 4 日（日）開催

出展テーマ「高齢者に優しいイス」でコマブースに参加。

名古屋工業大学の研究機関、協会の展示と cda 法人企業、一般企業、cda 会員から応募のイスを中部デザイン協会選定委員会が選択し、テーマに適合した作品を展示しました。

cda の広報活動に一躍担ったと思います。

研究委員会 <会員><学生><生活者>

<会 員> (委員長=佐藤勝彦 委員=黄ロビン、下川美智留、宮本美代子)

活動方針

中部デザイン協会の一大会事である研究発表会、記念講演会を成功させること。記念講演会については時代にマッチし、会員のニーズにあったタイムリーなテーマ、講演講師の選定をしたい。研究発表者については新規入会会員、未発表者を優先して選定したい。また研究(会員)委員会として継続して活動可能な新たな事業を探っています。会員の皆様のご意見、ご参加、ご協力をお願いします。

21年度の事業

研究発表会、記念講演会の開催他団体との研究分野での協力、協賛継続可能な新事業(計画中)
広報委員会と協力して cdaHP の研究分野の充実

<学 生> (委員長=樋口一成 委員=加藤克俊)

活動の方針

教育、デザインに関連する学生と連携共同して地域活動、ワークショップを行い教育や地域への貢献活動を行う

21年度の事業

中部デザイン協会が他の機関や団体と協力しながら行う地域の教育活動を計画しました。具体的な活動計画案としては、刈谷駅北側にある商店街の空き店舗を利用して行う小学生対象のものづくりワークショップを考えました。ワークショップの企画・実施・報告のすべてに亘って多くの大学生に関わっていただくこととし、ワークショップ後に、ワークショップ報告書(仮称)を作成する計画です。

<生活者> (委員長=渋谷 寿 副委員長=星田博子)

活動方針

デザインと生活者との関係という原点の問題に立ち返り、本協会としてどのような活動が可能かを探ることから始めたい。

本来、デザインと生活者とは密接な関係にあるべきだが、生活者の思いはデザインサイドに届かないことも多い。よって、日常生活に関わる「もの」について生活者の思いを汲み上げ、最終的にはデザインの現場にフィードバックで きるような相互的な活動を目指したい。

21年度事業

デザインと生活者との関係について、本委員会として可能な活動を探る意見交換の場を設定する。最初は少人数からでもスタートし、他委員会の委員をはじめ、会員の方々にも入ってもらえる委員会を目指す。

具体的なもの(食器、玩具、家具他)について、生活者サイドの調査を行ったりそれらを使った催し(体験教室やワークショップ)等も他の委員会と連動してできればと考えている。

まだ、手探りの部分が多いので、多くの会員の方々に参加いただき、デザインと生活者を結ぶ楽しい研究委員会にしたいと考えている。

展覧会委員会 (委員長=熊沢 甫 委員=滝本成人、青山 茂)

活動方針

多くの方に中部デザイン協会が理解されることを願って活動します。

私たち中部デザイン協会は幅広いデザイン分野の会員で構成されていますので、その特徴を活かすため、企画展を通して、会員間の交流を図ると共に、それらのメッセージを社会に発信することを 目指しています。

21年度事業

昨年度より、cdaホームページにギャラリーを開設いたしました。広報委員会の協力を得て企画展「GEN展」を長期的な展覧会として開催しています。今年度はさらに参加者を募り、充実を図っていきます。

新しく、法人会員による企画展を同じく、ウェブギャラリーに併設して、法人会員のアピールとなるテーマにした展覧会を計画します。

12月のクラフトデザイナー中部、主催の「LEDデザイン展」にJIDA中部ブロックと共に共催、参加します。

交流委員会 <会員><他団体>

<会員間> (委員長=星田博子 副委員長=高梨ゆかり 委員=高原智子、安藤仁基、古川カズコ)

活動方針

幅広いデザイン分野で活動の方々、会員間の交流を図る事を目的とします。

そのきっかけとなるような交流会・講習会を開催し、気楽にご参加いただくことで多くの会員との交流を深め、cda 会員間のより強い繋がりを作りたいと思います。

21年度の事業

1. 6月・・・あすけ里山ユースホステル訪問 一木造校舎に泊ろうー
2. 7~8月頃・・・石窯パン講座
3. 9~10月頃・・・ソープカービング講座
4. 11~12月頃・・・(多くの会員が気軽に参加できそうな) 交流懇親会
5. 2~3月頃・・・鍛金体験講座

<他団体> (委員長=丸井とも子 副委員長=森彬子 委員=多田雅美、水野正人)

活動方針

デザインに限らず、他の組織、団体と交流し、会員の視野、活動範囲の拡大を目指します。

21年度の事業

概略下記の方針で進めたいと考えております。

1. 美術系大学の研究室との交流訪問 or セミナー (7~8月頃をメドに)
2. 産業団体&NPO 団体との交流 (次期は未定)
3. 長期的将来構想として、民間商業施設(高島屋・ラシック etc.)での企画展示

※ 協会活動に企画から参加いただける会員を、各委員会および交流会、同好会も含め募集しています。各担当理事までご連絡ください。